



親子で読み、考え コミュニケーション

「新聞が親子の絆を深める」。七月二十五、二十六両日に青森市で開かれたNIE（教育に新聞を）全国大会で、小学校の先生がこんなメッセージを伝えていました。

この先生は新聞を教材として使い、学力向上に成果を上げています。この中で、学校だけでなく家庭で新聞に親しむことが大切と考え、親子で新聞を読む「ファミリーフォークス」に力を入れているそうです。

具体的には、子どもがテーマを決めて記事を切り抜き、その内容について親子で話し合い、考えを書きます。さらに、子どもが「きらめいていたこと」を月刊の新聞にまとめ、親が感想を寄せます。先生は、こうした取り組みが親子のコミュニケーションに有効であると報告しました。

本県でも「親子スクラップ」などの活動が行われています。福島民報社は学校に向いて記事の選び方をアドバイスするなど、教育現場を応援しています。